



見すごしていませんか？

ことばの異常

——ことばの教室——

来年少学級に入学する児童121人中9%にことばの異常が見られました。

達について検査を行っていますがその時に異常がなくとも安心できません。

ことばの異常は、訓練していくと早く

て3カ月くらいで

いでもいい発音になります。

町では、東陽小学校に

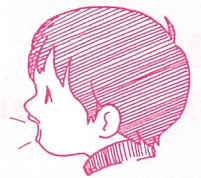
「ことばの教室」を設置して特別指導を行っています。

ことばの異常をそのままにしておくとうまく関係が悪くなったり、授業に積極的

▶ 恵まれた環境のことばの教室



主なことばの異常



- (1) 「い」、「き」、「し」、「ち」、「つ」、「り」、「じ」音にひずみがある。口を曲げて発音するため「リンゴ」が「ギンゴ」と聞こえたり、はつきりしない。
- (2) 「つ音」の発音が「チュ」となる。
- (3) 「ぎ行」が「ジャ行」や「ダ行」となる。
- (4) ことばの発達の遅れに
- (5) 口を動かす練習をしましょう。
- (6) 舌を丸めたり伸ばす。
- (7) 「ぱ・た・か」をくり返し言う。

家庭でできる方法

- (1) 固い物を食べるように心掛けましょう。
- (2) シヤボン玉・ラッパ・フウセンなどの口を使う遊びをしましょう。
- (3) 子供の話をよく聞き、よく話をさせましょう。
- (4) 親が赤ちゃん語を話したりしないで、正しい発音で話して聞かせましょう。

さわやかハートちは

大木志保さん 知事賞を受賞

千葉県は、さわやかで快い県民のイメージと私たち自身の心をも和ませるふるさとづくりのために「さわやかハートちは」を推進しています。

◎詩の部

知事賞

「公衆電話の前で」

6年 大木志保

推進協議会長賞

「老人と私」

6年 錦郡絵美

◎作文の部

推進協議会長賞

「あいさつっていいな」

6年 向後麻美



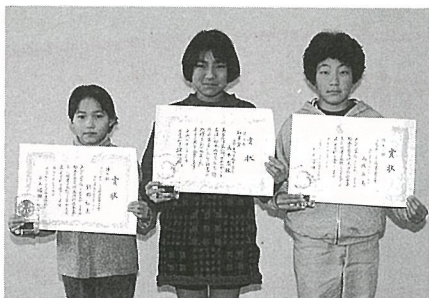
▶ 熱心に行われた研修会

パネルディスカッション方式で

国際理解研修会

町内小中学校の先生が、中学校で外国語指導にあたり、2月3日に町民会館で研修会を開きました。

パネルディスカッション方式で日本と外国の生活習慣や学校教育を中心に討論が行われ、一人ひとりを大切に考えて欲しいしつけをする外国と、集団を大事にしていく日本との違いなど熱心に研修していただきました。



受賞した向後さん、大木さん、錦郡さん(右から)